



〈学び続ける私〉をつくる礎は 小学校低学年にあるって、どういうこと？

「当たり前」がつけられる前の、小学校低学年の時期の——見たままに、感じたままに、思ったままに。そんなリアルな“いま”を仲間とともに楽しみながら広げる学びがあるといいます。それは「人生100年時代」、生涯、豊かに〈学び続ける私〉になるための大切な学びであり……。それはいったいどういうことなのか、朝日新聞「わかるわかる運動」が日能研に聞いてみました。



「みんなはなにで、夏を感じる?」—「海!」「アイス!」「お祭り。」「キャンプ!」……「カブトムシ!」「ボク、カブトムシがいそうなところがあるよ。」「え!? どうやって?」「おおいがするんだよ。モワッとしてさ……」「何それ!」「どんなにおい?」……。「においといえば、夏のおいってさ、甘いよね。」「甘い? なんて?」「だって、お祭りの綿がしのおい!」。ひとつの投げかけや、仲間が発した言葉から生まれる“問い”や発想。広がっていく自分だけの空想の世界。大切にしたい、3年生の日能研での日常です。

「おもしろい!」「なんでそうなの?」「へー、そうなんだ。」—子どもたちの体験が共有されていく。

仲間のたくさんの「感じる」や「考える」に出会うからこそ、〈私〉のアタマとココロが動きだし、自分の中に新しい「やってみよう!」「考えたい!」が生まれていく……。

大人からすると突飛で荒唐無稽ともいえる子どもの発想、広がり。それはまだ「当たり前」がつけられていない時期だからこそ生まれる宝物。そこには、「正解〇」も「間違い×」も「模範解答」もありません。

「なんで?」「どうして?」—素直で素朴な問い。思ったことはすぐ言葉にできる。—子どもに寄りそう大人がその突飛な発想や、〈私〉だけのつながりに、驚いたり、認めたり、大人も子どもの世界とともにいる。だから、授業も、板書をしながら「教える

のではなく、子どもたちの豊かな発想や問いを引き出す。つなく。刺激する。そして、子どもたちの表情や発する言葉を逃さずキャッチし、受け止める。「自分を大切に」「相手を大切に」「みんなを大切に」。それらを同時に。自分の考えと、仲間の考えとの“出あい”を大切にできる。これが、日能研低学年の“学びの場”たる授業風景です。

低学年までの時期に、空想の中で思いや考えを自由に巡らせる〈ファンタジー〉の世界で思い切り遊ぶことが、イマジネーションとクリエイティビティを大きく育てる原動力となります。そして、高学年から始まる系統学習で、論理性や客観性、表現力や協働性を身につけることで、コミュニケーションや

ホスピタリティを育て続けられる〈私〉へと成長する。

「人生100年時代」—22世紀を生きる子どもたち。予測困難な未来。“未知”との対峙。多様な価値観を持つそれぞれの〈私〉が集い、協働し、〈私たち〉の未来を〈私たち〉でつくっていくための準備。

小学校低学年。仲間とともにたくさんの“問い”をつくり、〈探求〉を楽しむ。—それこそが、自分で〈私〉を育てる、〈学び続ける私〉をつくる礎となるのです。

6月。(日能研全国テスト)で、ぜひ学びの礎を体感してください。

仲間とともに“問い”をつくり、〈探求〉することが、未来をつくる〈私〉を育む礎になる。

日能研経由、私学へ。—そして未来へ。

日能研 全国テスト

参加
無料

6/10

小2

6/17

小3

小4

小5

【科目】2科目(国語・算数)
【会場】お近くの日能研各校
【時間】1回目 9:00集合
2回目 13:00集合
※一部、教室によって実施要項が異なります。
詳しくはホームページでご確認ください。

保護者会同時開催!

今回のテストについて、そのねらいや今後の学びなど、詳しくお話しします!

テストの詳細・お申し込みは

日能研 検索

または
お近くの日能研へ!
以下のQRコードからも!

学校行事などでご都合がつかない場合はどうぞお気軽にご相談ください。

